

(三陸沖北部地震)

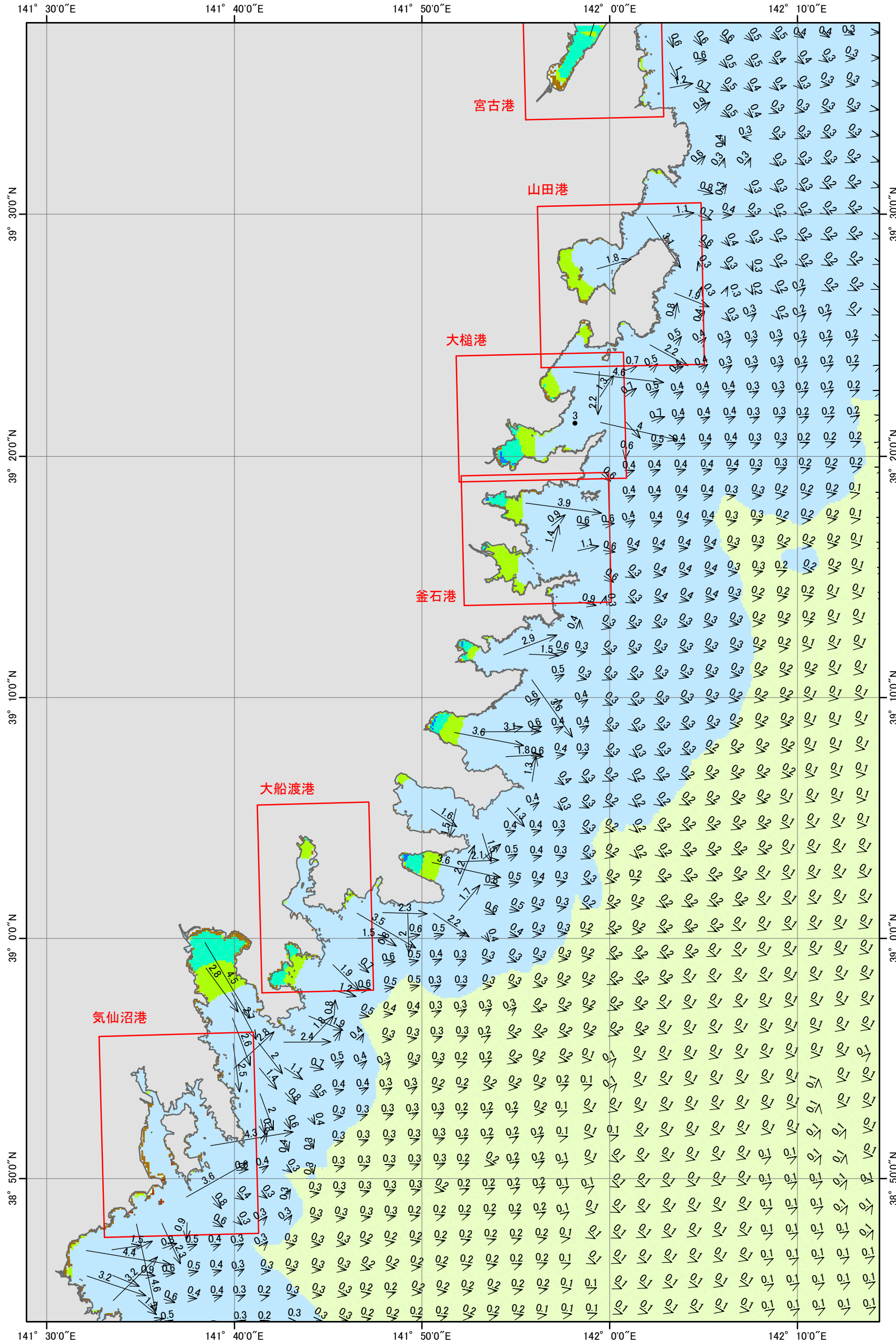
岩手県沿岸南部 津波防災情報図 (引潮図)



座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)  
隆起量： 平均 -0.06m (-0.17m ~ -0.02m)  
Zo： 0.86m  
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

最大水位低下

- 5~最大5.9m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域
- 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

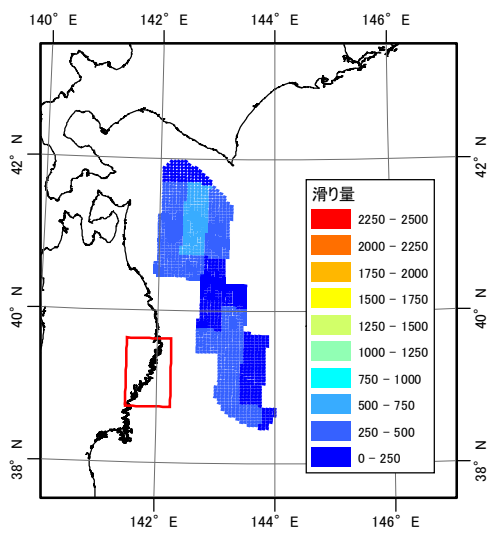
- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

断層モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw	8.4
-----------------	-----

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ